

共同テーブルちば街宣行動

2023年10月30日 新社会党千葉県本部

【共同テーブルちば街宣行動】



10月29日10:30、千葉駅東口で2回目の「共同テーブルちば」街頭宣伝行動をした。新社会党、社民党、アイ女性会議が20名の結集で、リレートークとチラシ配布をした。新社会党からは宮川委員長、鳩川書記長がマイクを握り、社民党千葉県連合工藤鈴子代表も強く生活改善を求める訴えをした。





◆国連総会(193カ国)は27日、「人道目的の休戦」を求めるアラブ諸国主導の決議を121カ国の賛成多数で採択。しかし、日本を含むなど44カ国が棄権。米国、イスラエルなど14カ国が反対。日本の上川外相は、棄権を「総合的判断」だと攻撃を支持した。日本の民意は、即時休戦！岸田政権は平和に逆行している

配布したチラシには、「国境なき医師団」の一員でガザからエジプト国境に非難、足止めされている日本人女性を紹介しました。食料、水がない。寝床もおなしに、トイレは千人に一ヶ所。感染症の怖さも迫っている。日本の母親に悲痛なコメントを届けています。即時平和を求める声を上げました。

◆岸田首相は、軍拡にお金を使う戦略は崩さなで、増税を進める。曖昧な経済政策で逃げようとする。岸田首相の首根っこをつかみ、減税、給付を迫る。今こそ消費税ゼロ、インフレ手当給付を進めるときだ。

◆雨上がりの千葉駅前の街頭宣伝は、阿部治正さん(社民党千葉県連副代表)の司会で進められた。社民党、新社会党、アイ女性会議から、パレスチナの即時停戦、消費税ゼロ、物価高対策の給付を訴えました。街宣行動に30名が参加した。

